



2月13日

福者ホルダン・デ・サクソニア 司祭

(説教者兄弟会第2代総長)

1185年頃、サクソニアの貴族エベルシュタイン家に生まれた。パリーで勉学中、福者レジナルドによってドミニコ会へと引かれ、1222年、灰の水曜日に彼の手から修道福を受けたが、修道生活の初めから慎重さと敬虔さにおいて際立っていた。

聖ドミニコの死去と同時に、着衣後やっと三年で総長に選ばれ、その任に着くや断固とした態度でありながら、権威を注意深く用い、また説教に対する熱情をもって会を非常に発展させ、在任中1000人以上の修練者を受け入れたと言われている。若者への彼の影響は非常なもので、彼が通り過ぎる所では、母親たちは息子を隠したほどである。

福者ディアナとその修道院共同体を完徳の道をめざし、長上として任せられた兄弟たちを優しく、親切に統治した。1237年聖地巡礼からの帰途に難船、溺死した。

1826年、教皇レオ12世により崇敬が認可された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から